

報道機関各位

小倉デジタル城下町大作戦 第一弾

「小倉デジタル城下町大作戦」始動！

～ 誘致から集積の新たなステージへ ～

北九州市はIT企業の誘致に注力しており、この10年間で231社の企業進出を達成し、特に令和6年度は過去最高の48社が進出しています。

中でも城下町として歴史のある小倉都心部では、IT企業の集積が急速に進んでいます。加えて、オフィスビルの建設、大学の情報系の新学部設置なども相次いでいます。これは、単なる「誘致」の段階からIT企業が「集積」する街へと、小倉が新たなステージへ移行していることを示しています。

この流れをさらに加速させるため、「小倉デジタル城下町大作戦」と銘打ち、小倉都心部が「IT企業が集積する街」として想起されるよう、ブランディング戦略を展開します。この大作戦のもと、**新たな活動**と**新たな展開**をパッケージとしてとりまとめ、アテンションを高めることで、これまで以上に企業誘致を進めていきます。

小倉デジタル城下町大作戦 コンセプト

小倉をより企業や働く人が集う魅力的なオフィス街に！

- ⇒ ITに加え設計・開発部門などオフィス系企業の誘致促進
- ⇒ 若者・女性が集まりイノベーションが生まれるまちへの発展

The concept map illustrates the 'Kokura Digital Downtown' project. It features a central map of the Kokura area with various icons and labels representing different zones and facilities. On the left side, a vertical banner reads '新たな活動' (New Activities). On the right side, another vertical banner reads '新たな展開' (New Expansion). The map includes labels for '小倉デジタル城下町' (Kokura Digital Downtown), '小倉駅前センタービル' (Kokura Station Front Center Building), and '小倉都心部' (Kokura Downtown). Various company logos and names are scattered across the map, including IBM, DCS, Regus, and others. The map also shows transportation routes and other landmarks like '小倉駅' (Kokura Station) and '小倉都心部' (Kokura Downtown).

新たな活動① 「オフィス立地促進補助」の対象拡大

補助対象に IT 企業に加えて、ものづくり系 R&D 部門などを追加することで、IT 企業だけでなく、オフィス系企業を重点的に呼び込む。

(1) 見直しのポイント

【見直し前】 情報サービス業等の事業の用に供する施設

【見直し後】 上記に加え半導体及び次世代自動車に関連する事業を行う施設を追加
※JR小倉駅、JR黒崎駅及び学術研究都市周辺

(2) 補助金の内容

- オフィス賃料に対する補助

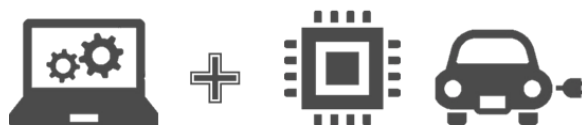
年間賃料及び年間共益費の1/2を補助

※ 新規雇用3名以上などの要件あり

- 新規雇用に対する補助

新規雇用1人あたり最大30万円を補助

※ 新規雇用3名以上・1年以上在籍などの要件あり



【対象業種】 IT に加え、半導体・次世代自動車オフィス系

新たな活動② 「北九州市企業誘致アベンジャーズ」の始動

企業誘致を担う市職員に加え、企業誘致に貢献する民間企業人材を「北九州市企業誘致アベンジャーズ」と命名し、活動意欲とアテンションを高め、さらなる誘致活動の向上を図る。

(1) 民間企業人材について

- 北九州市への企業誘致に積極的に協力し、企業紹介やアドバイスを行える人物
- 北九州市への深い愛着を持ち、業界における幅広いネットワークと高い専門知識を有する人物 等
- 候補として、進出 IT 企業の役員等を想定

(2) 就任者への対応

- アメコミ風の「北九州市企業誘致アベンジャーズ」専用名刺を配付
- 活動は無償



新たな活動③ 経営者視察ツアー・学会の誘致

北九州市への進出を促すため、首都圏企業の経営者視察ツアーの実施や、IT系企業が参加する学会の誘致を進める。これにより、北九州市が持つ豊富な理工系人材や充実した交通インフラといった魅力を効果的にPR展開する。

(1) 独立系 IT 企業経営者視察ツアー

【組織】



- 独立系 IT 企業16社が加盟している団体(ITA)の視察ツアー
- 加盟企業は、情報技術開発(株)、(株)クロスキャット、(株)エヌアイデイなど

【北九州市での取組】

- 地方拠点の検討を視野に入れて、7月30日(水)に北九州市に視察(代表取締役等12名参加)
- 進出企業や教育機関との意見交換を行い、北九州市への進出を検討

(2) プロジェクトマネジメント学会秋季大会

【組織】



- プロジェクトマネジメントを学問・技術の体系として整備、確立、発展させ、国際社会に寄与することを目的とした学会の開催
- 日本を代表するIT企業を中心に、現在法人会員が約120社加盟
- 加盟企業は、日本IBM(株)、日本電気(株)、富士通(株)、(株)日立製作所、(株)NTT データなど

【北九州市での取組】

- 令和7年8月28日(木)、29日(金)の2日間で、「プロジェクトマネジメント学会秋季研究発表大会」を北九州市立大学(北方キャンパス)で実施
- 企業関係者及び大学を中心に300名が参加予定

(3) グローバル展開企業経営者視察ツアー

【組織】



- 上場企業または準ずる企業などの経営者が集うグローバル市場に挑戦する経営者がビジネスをするための会(アジア経営者経営者)の視察ツアー
- 加盟企業は、ウイングアーク1st(株)、(株)ベネフィット・ワン、(株)マーケットエンタープライズなど

【北九州市での取組】

- 令和7年10月24日(金)、25日(土)の2日間で、「アジア経営者連合会 NEXT の会」を北九州市で実施(経営者10名参加)
- 地元スタートアップ企業との交流会等を行い、北九州市への進出を検討

新たな展開① 新たな企業の集積加速

今年度も IT 企業の進出が続々と決定しており、既に6月末の時点で15社が進出し、過去最高の誘致件数を記録した昨年度を上回るペースで集積が進んでいる。

主な6社を紹介

(1) サイエンスパーク株式会社

【概要】

- 神奈川県に本社を置き、デバイスドライバやサイバーセキュリティ対策ソフトの開発を行う企業

【北九州市拠点】

- 令和7年4月、北九州拠点「QPark」開設
- 北九州拠点を本社に次ぐ開発拠点として拡大予定



(2) 株式会社オプティム(東証プライム上場)

【概要】

- 東京都港区に本社を置く、AI や IoT を活用して様々な産業のDXを推進する企業

【北九州市拠点】

- 令和7年4月に九州栄養福祉大学内に拠点開設
- 同大と包括連携協定を締結し、オプティムが持つ AI・データサイエンスの知識・技術などを生かした講義や地域企業と研究の実施



(3) 株式会社インプル

【概要】

- 札幌市に本社を置く、スマートフォンアプリや Web システムの開発等を行う企業

【北九州市拠点】

- 令和7年7月にリバーウォーク北九州内に拠点開設
- ベトナム企業等と連携し、ベトナム人材を採用して北九州市でビジネス展開



(4) エイム株式会社

【概要】

- 愛知県名古屋市に本社を置く、自動車関連のエンジニアリングサービス事業や研究開発・実証実験事業などを行う企業
- 自動車産業の開発・設計特化型企业

【北九州市拠点】

- 令和7年8月にビジア小倉に開発拠点を設置



(5) AI CROSS 株式会社(東証グロース上場)



【概要】

- 東京都港区に本社を置く、SMS などのコミュニケーション DX ソリューションと、生成 AI 予測 AI 等の先端技術を強みとする IT 企業

【北九州市拠点】

- 令和7年4月に九州栄養福祉大学内に拠点開設
- 同大と包括連携協定を締結
- AI 人材育成や地元企業との連携による DX 推進支援等に取り組む

(6) コクー株式会社



【概要】

- 東京都千代田区に本社を置く、女性活躍を推進し、「人財」×「デジタル」事業で社会の DX を支援する企業

【北九州市拠点】

- 令和7年6月に北九州オフィス開設
- 北九州市は大阪、福岡、富山、浜松に次ぐ地方5拠点目

新たな展開② 周辺大学の新学部・学科の設置

小倉駅周辺では情報系の学部・学科が相次いで新設される予定であり、これにより、この地域は理工系人材の集積地としての存在感をさらに高めていく。

(1) 九州栄養福祉大学

【概要】

- 令和7年4月に「食環境データサイエンス学科」を小倉北区キャンパスに開設
- AI・データサイエンスのスキルと食環境・健康分野の深い専門知識を合わせ持つことにより、「豊かな食生活と健康」を実現する持続可能な社会に貢献する人材の育成

【入学定員】 50 名

(2) 西日本工業大学

【概要】

- 令和8年4月に「情報マネジメント学科」を小倉キャンパスに開設予定
- 企業の財務・経理、人事、生産管理、セールス・マーケティングといった事務販売部門の IT に強い人財を養成

【入学定員】 40 名

(3) 北九州市立大学

【概要】

- 令和9年度に「情報イノベーション学部(仮称)」を開設予定
- 大学とIT企業が連携し、デジタル技術やデータ分析、AIを活用した課題解決能力を培うため、市内企業での長期インターンシップを含む実践的なカリキュラムを構築

【入学定員】 118名



基本設計時のイメージ図
※実際の建物は変更となる可能性があります。

新たな展開③ IT企業と地域とのコラボレーション

進出したIT企業は、活発な企業間交流に加え、若者・女性・子ども向けのITセミナー・講座やプログラミング教室といった地域のIT人材の育成にも貢献している。

これにより、小倉のまちは、これまで以上に活気に満ちた魅力的な地域へと大きく発展していく。

具体的なコラボレーション例

(1) 企業対抗 ボッチャ大会@ビジア小倉

【概要】

- ビジア小倉の公開空地を会場に、「企業対抗ボッチャ大会」を開催
- 企業内外で多くのコミュニケーションが生じることで、都心部のビジネスコミュニティに活力を創出
- 令和7年3月、5月、7月開催

【参加企業】

日本アイ・ビー・エムデジタルサービス(株)、
三菱総研DCS(株)、ウイングアーク1st(株)、
(株)情報戦略テクノロジー、清水建設(株)、
住友林業(株) など



(2) 女性のためのITキャリアセミナー

【概要】

- 女性エンジニア向けに、女性活躍の取組、ITエンジニア多様な働き方などを紹介
- ITエンジニアとして働く魅力を伝え、新たなキャリアを踏み出すきっかけを提供
- 令和7年7月、ビジア小倉で開催

【実施企業】

日本IBM(株)などが主催(北九州市共催)



(3) 若者・学生向け アプリ開発実践講座

【概要】

- 地元学生向けにアプリ開発講座を実施
- アプリ開発をテーマに学生と IT 企業と一体となって、技術を学ぶことで、学生と現役エンジニアとの交流や企業とのつながりを創出
- 令和7年8月～9月に実施予定

【参加企業】

GMO インターネット(株)、(株)LAC、三菱総研 DCS(株)、日本アイ・ビー・エムデジタルサービス(株)、ギグワークスクロスアイティ(株)、(株)情報戦略テクノロジーなど16社



(4) 子ども向け プログラミング教室

【概要】

- 進出 IT 企業が、参加料無料で小学生向けプログラミング講座を実施
- 北九州市内の子どもたちの IT スキルの向上に貢献することや次世代の IT 人材の育成につなげる
- 令和7年8月ごろ実施予定

【実施企業】

ウイングアーク1st(株)、GMO インターネット(株)



【問い合わせ先】 産業経済局企業誘致課
山下(課長)、岩下(係長)
電話:093-582-2065